令和6年度 学校評価

学校名 岐阜市立境川中学校

校長名 久川 直之

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	・ICTを効果的に活用した個別最適化の学びにつながる授業づくり ・「なりたい自分」を支える生き方教育の推進	B	・校内研修でロイノートの活用事例を交流し、具体的な授業場面における有効な活用方法について理解を深めることができた。 ・朝活動の時間を使った「なりたい自分」の具現に向けた自身の成長を発表する取組を通して、自己の変容を見つめることができた。	・教師も生徒もタブレット端末を効果的に使って意見を交流している姿が多く見られた。 ・3年生の生き方に触れることで、「なりたい自分」と今の自分を比較し、努力していこうとする意欲をもつことができていた。	・生徒が自分で学びを進めていくことができるようなICT機器の効果的な活用方法について、研修をしていく。 ・「なりたい自分」の具現に向けた歩みを振り返りながら、自らの成長を自覚し、自己有用感を味わうことができる教師や仲間からの評価の在り方を考えていく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	・地域人材を活用した土曜授業の実施(コムスク) ・中学生ボランティアへの積極的な参加 ・校区の小学校と連携した授業改善、特別支援教育の推進	B	・土曜授業において、14名の地域人材の協力のもと、職業講話を実施することができた。 ・地域主催の各種ボランティアにのべ198名(14名増)の生徒が参加することができた。 ・校区の小学校の学力学習状況調査の結果を交流し、児童生徒の実態の把握と授業改善に努めた。	・防災教育やキャリア教育の重要性を理解し、地域人材の派遣に協力していきたい。 ・より多くの生徒にボランティアに参加してもらえるよう募集を継続していきたい。 ・小中学校の違いに戸惑うことのないよう、一層の連携を推進して欲しい。	・「ぎふMIRAI's」の意義を理解し、地元で様々な業種で活躍している人材の情報収集に努めていく。 ・今後もボランティア活動の意義を発信し、多くの生徒の参加を促していく。 ・9か年で育てるという共通認識のもと、小中学校の連携を推進していく。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	・ICTを有効に活用した働き方改革の推進 ・指導力の向上を図る校内研修の実施	B	・ペーパーレス会議の実施、採点システムの積極的な活用により、職員の負担軽減に努めた。 ・若手教員の困り感を把握し、研修主事を中心にニーズに合わせた校内研修を実施することができた。	・生徒と向き合う時間を作るためにも、働き方改革をさらに推進して欲しい。 ・生徒の学力向上につながる教職員の校内研修を充実させて欲しい。	・新しいシステムの導入に伴う負担感を軽減できるよう、日常的な交流を充実させていく。 ・若手教員と経験のある教員が共に学び合える校内体制の充実を図る。
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	・PTA等と連携した登下校指導の実施 ・防災意識と行動力の向上を図る訓練の実施 ・全職員によるいじめの早期発見及び迅速かつ丁寧な対応及びスクールカウンセラーと連携した「SOSの出し方教育」の実施	B	・5月から2月にかけて、地区委員を中心に下校の見守りを実施することができた。 ・防災教育の土曜授業は大雨により中止となったが、行動力の向上につながるよう命を守る訓練の内容を充実させることができた。 ・いじめ事案の対応フローに則った対応を徹底することができた。	・危険な自転車運転の姿も見られるため、交通ルールの遵守や乗車マナーを向上を図る指導をしてほしい。 ・専門性の高い講師を招聘し、防災意識と行動力の向上を図る活動をしていきたい。 ・教師による対応の差を感じさせないよう、生徒の声を聴き、生徒に寄り添った対応をしてほしい。	・交通ルールを正しく理解し、自分の命を守るための自転車運転マナーを向上させることができるよう指導を充実させる。 ・地域人材や専門家との連携を密にし、自分の命を守り切る行動力を培う。 ・全校体制による迅速かつ丁寧な対応を心がけ、いじめの被害者に寄り添った対応といじめの解消までの見届けを行う。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	・生徒が安全に安心して生活できる環境整備(施設設備の管理、点検、計画的な修繕) ・適正で透明性のある会計処理の実施	A	・校内安全点検後、速やかに補修・修繕を実施することができた。 ・多くの目で確認しながら、適正な会計処理ができた。	・生徒の安全・安心な生活環境をつくるために、地域としても積極的に要望をしていきたい。 ・PTAと連携しながら、適正な会計処理が行われている。	・今後も、校内及び校区の安全・安心な環境づくりに努める。 ・今後も、多くの目で確認しながら、適正な会計処理を進めていく。